

### 1. 泊発電所安全 協定について



原子力規制庁の設置など原子力に係る様々な動きがある中、後志管内全ての市町村と北海道電力とで、立ち入り調査の同行等の情報共有を目的とした協定書を取り交わす予定である。本町としては、泊原子力発電所から、約45キロに位置しているため、原子力防災計画の策定義務は無いが、既存の地域防災計画の見直しを進め、国から示される原子力関係の指針に準じた形で、避難先、医療、介護関係の整備を進めていきたいと考えている。

### 2. 倶知安厚生病院、 喜茂別厚生 クリニックについて



倶知安厚生病院については、経営健全化計画が示された。計画の内容は、事務職員や看護師の削減に加えて、多額の費用がかかる派遣医師に頼る病院運営を改め、常勤医師を配置して経費削減を進めていく内容となっている。地域医療を守るためにも今後の動向を注視し、住民の皆さんへの情報

### 3. 教育行政について (全国学力・学習状況 調査結果概要※)



学校教育行政では、地域含めた子育てや平成23年度から保育所が教育部局に移管したことに伴い、小学校との連携を重視している。保育所では、外遊びを重視し、生活の基本となる園児の基礎体力向上といった活動を行っている。昨年度からスタートしたフッ化物洗口(ブクブクうがい)の取り組みは園

提供に努めていきたい。また、赤字補填を続けている喜茂別厚生クリニックについては、老朽化していく病院の建物の補修費や維持管理費を考慮すると、むかわ町で実施している指定管理者制度を活用することも、選択肢の一つとして考え、町民の皆様や移住者が安心して暮らせるような施策を長期的な視点で進めていきたい。社会イノベーション事業(※)を引き続き実施し、医療費の抑制にも繋げていきたいと考えている。  
※医療過疎という共通の課題を抱えた4町村(積丹町・島牧村・ニセコ町・喜茂別町)が連携し、高齢者が元気で安心して暮らせるまち、さらには医療費の抑制を目指して、おしゃべり回覧板を活用した「遠隔健康相談」や「高齢者見守り・自治体コーンセンター」等の事業を実施している。

児(4歳児・5歳児)、児童(1年生)の公衆衛生プログラムとして高い効果が期待されており、引き続き事業を推進していく。また、国からの交付金を利用し、図書館の充実にも取り組んでおり、横浜冷凍(株)からの寄付金を活用しながら、子供たちの読書活動の充実を図っていきたい。児童・生徒の学習環境の整備については、夏季休業期間中にサマースクールと称した補充学習の取り組みを実施し、参加率が高いため、冬季休業期間中にも実施する方向で進めている。  
※喜茂別町HPにも、掲載しております。

### 4. 水道料金に ついて



消費税の増税に伴い、水道料金の値上げが必要になる。また、国の補助金を活用した事業を進めていくため、全町での水道料金の統一が必要になる。条例改正が必要な案件であるため、住民や議会に対して説明責任を十分に果たし、不公平感が少しでも解消される料金体系にしていきたい。今後とも、町民の皆様のご指導を仰ぎながら進めてまいりますので、ご協力をお願いしたい。

## 行政版 広報 きもづつ

### ◆第2次北海道後期高齢者医療 広域連合広域計画(原案)に 関する住民意見募集について◆

北海道後期高齢者医療広域連合は、道内179市町村との連携のもと、後期高齢者医療制度を運営している特別地方団体です。この度、広域連合では、広域連合と市町村が連携しながら処理する事務について定めた「広域計画」が平成24年度末で期間満了を迎えることから、平成25年度からの新たな広域計画(第2次広域計画)を策定します。策定にあたり、次のとおり広く住民の皆さまからご意見を募集します。

【募集案件】「第2次北海道後期高齢者医療広域連合計画(原案)」について

【募集期間】平成24年12月7日～  
平成25年1月7日(必着)

#### ■お問合せ先

北海道後期高齢者医療広域連合  
〒060-0062  
札幌市中央区南2条西14丁目国保会館6階  
電話(011-291-5601)  
喜茂別役場 住民課保険医療係  
電話 33-2211  
(1P電話)33-5028

### 就任！喜茂別駐在に 今井和久所長が就任されました。



前任は札幌の警察本部交通企画課で、主に「交通事故発生件数や死者数」などの交通事故の統計に関する業務を担当していました。喜茂別町の安全を守るべく微力ながら一生懸命取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

### 平成24年10月1日より 菊地利憲さんが喜茂別町 教育委員長に選任されました。



前委員長池田正宏氏の退任により選任されました。喜茂別の子どもたちのため、教育行政の推進に努力して参りますので、町民の皆様のご支援、ご指導を賜りますようよろしくお願い致します。

## 赤十字災害救援車 「博愛号」が配置されました

日赤北海道支部より、このほど「博愛号」が配置されました。同支部では、迅速・確な災害救護活動及び地域における事業推進のため、各地区・分区分へ救護装備の配置を行っております。「博愛号」は、本年度道内で15台配置され、うち1台が喜茂別町分区分へ選定されました。毎年、町民の皆様にご協力いただいている赤十字の社費は、「博愛号」の配置など災害救護活動などに使われています。これからも、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



## 人口と世帯

(平成24年10月末現在)

人口

男 1,190人(+5人)  
女 1,173人(-2人)

合計 2,363人(+3人)

世帯数 1,227世帯(-2戸)  
( )内は前月比